

予算等特別委員会

令和3年度市一般会計予算案を審査した予算等特別委員会（中野貴徳委員長、議長を除く全議員で構成）の質疑内容を要約して一部紹介します。

人口定住対策

- 質** 入湯税の減額理由は、黒崎温泉は4月から営業を再開する見込みだが、コロナの影響を考えて5割減とした。
- 質** 旧米崎中学校に整備される3・11仮設住宅体験館はどのような施設になるか。
- 答** 避難生活などを体験できる施設。また、宿泊体験ができるように検討している。
- 質** グリーンスローモビリティ導入の目的は。
- 答** 国の交付金を活用して車両を購入し、観光客や市民の足となるような運行を行い、地域活性化を図る。
- 質** 太陽光発電システム導入などに加え、家庭用蓄電池、燃料電池なども補助対象にしてはどうか。
- 答** 要望の有無に応じて検討
- 質** 人口定住増加対策の現状は。
- 答** 平成23年度から増加対策事業を進めている。現在は、NPO法人への移住定住総合支援業務委託や地域おこし協力隊の受け入れ、本市に住宅を建設し移住した世帯に100万円の地域商品券を交付する住宅支援、Uターン促進奨励金など4つの柱の事業がある。これまで290人ほどの移住者を迎えている。
- 質** デマンド交通の運行は。
- 答** 広田町、小友町、気仙町で継続して運行する。令和3年度より国の支援がなくなることから、過疎債で対応することが、継続するには負担が大き

- 設されているモデルエリア、野外音楽堂建設のエリア、震災前に県立高田病院があったエリアを先行して整備している。第2期エリアは令和3年度に土を敷ならし、農地的な整備を行う予定である。気仙沼の三陸沿岸道路が全て開通したこと、国との協議により、仮設道路撤去の際の土砂を今泉北地区に運搬することで事業費の縮減を図る。
- 質** 野外音楽堂建設は。
- 答** ワタミの渡邊美樹会長がオーガニクランド事業のエリア内に野外音楽堂を整備する旨を公表し、それに賛同する方からの寄付が市に寄せられた。事業実施する際に、寄せられた寄付金を補助金として支出することから市の負担は発生しない。観客席については、固定のものではなく、なだらかな芝の丘を整備すると伺っている。
- 質** 矢作町分収林調査業務委託料の内容は。
- 答** 分収林契約書が津波で流出しており、その復旧事務を進める。
- 質** 有害鳥獣被害対策の新規狩猟者確保事業の内容は。
- 答** 新規で免許を取得する費用として、10分の10（わな免許1万5千円、銃免許12万円上限）を補助する。また、狩猟に使用する銃の所持費用については、4分の3（上限15万円）を補助する。
- 質** 広田湾・気仙川等の環境調査の動向は。
- 答** 岩手大学・高田高校・広田湾漁協と連携し、広田湾の調査を進める。磯焼け対策や貝毒低減策、新規養殖種の研究・調査に活用する。
- 質** オートキャンプ場の今後は。
- 答** 緊急避難場所として指定しており、最低限の管理はしている。側溝や通路の補修が必要であることを県に提言している。県において、リニューアルの内容を検討中であり、課題を共有する。
- 高田松原海水浴場**
- 質** 高田松原海水浴場の運営は。
- 答** 観光物産協会が主体で運

一部紹介 議員質疑を 人口定住や 産業振興策で

- い。財源を国に要望していく。
- 質** 婦人相談員を設置しているが、地域にはさまざまな悩みを抱えた市民がいる。カウンセリングルームの設置の考えは。
- 答** カウンセリングを希望する場合、内陸まで行かなければならない現状がある。ニーズはあるので、誘致など対応可能かどうかも含め検討していく。
- 質** 制服リユース業務の取り組み内容は。

- 営する。駐車場は、防潮堤北側を予定し、県が整備を進めている。近隣の市有地を臨時駐車場として活用することも検討しているが、それでも不足する場合は運動公園駐車場の活用も検討する。監視塔は3基設置する。案内所については、県が管理事務所を建設予定であり、夏の期間に一部を借用し、設置することになっているが、本年は間に合わないため、プレハブおよびテントで運営する。
- 質** 高台移転家屋への関連道路に対する補助は。

- 答** リユースにより、入学時の制服等購入の負担を軽減する。社会福祉協議会に委託するので相談事業にもつなげられると考える。
- 質** 福祉施設等職員のPCR検査実施の考えは。
- 答** 職員や入所者の検査について、国は2分の1の補助をしているようだが、多額の検査費用になる。市の財源は厳しく、検査費用の補助は難しい。
- 質** 心の健康推進は。
- 答** 民生委員等からの情報を担当課で協議し、相談に応じている。また、庁内でも連携し、情報共有を図っている。悩みをお持ちの方が孤立しないように誰かとつながることが大事であり、引き続き、体制づくりに努める。
- 質** 清掃センターと最終処分場の状況は。
- 答** 異臭等の苦情がないか定期的に確認しながら維持管理している。センター建屋の老朽化については、公共施設等総合管理計画の個別計画を策定中であり、耐用年数が判明

- した時点で判断する。また、最終処分場の容量は令和3年度に測量を行う。
- 質** 職業訓練校の運営は。
- 答** 使用料や職業訓練協会会員からの収入、一定の生徒数に応じた県からの補助金を考慮しながら、職業訓練協会へ運営補助を行う。いずれは自立的な運営を目指してくべきと考えている。
- ピーカンナッツ**
- 質** ピーカンナッツ栽培の状況は。
- 答** 米崎町内に苗木育成研究施設を建設中である。苗木の育成と施設管理は、市内に新設される農業法人に業務委託を予定している。
- 質** ピーカンナッツ産業施設建設は。
- 答** 貸工場を建設し、事業者に貸与する。開業時の雇用数は5人で少しずつ雇用を増やしていくと伺っている。
- 質** 今泉北地区の基盤整備は。
- 答** 過疎債での基盤整備を進めている。現在、ハウスが建

- 答** 1件当たり300万円の補助がある。財源は復興基金を活用しており、今後5年間の復興・創生期間内は継続する方向で計画的な運用を考えている。
- 生活再建住宅支援**
- 質** 生活再建住宅支援事業の見通しは。
- 答** 加算支援金未申請世帯を把握しており、その世帯を中心に個別対応する。また、支援金について知らなかったケースも多いことから、業者を通じて周知も検討する。
- 質** 本丸公園の整備は。
- 答** 避難路の整備に合わせ、東屋およびトイレを整備する予定。工事中となっている避難階段については、急傾斜で事業費が大きくなる見込みであることから、財源確保が難しい。今後対応を検討する。
- 質** 消火活動の影響で断水になったことがあったが、今後の対応は。
- 答** 上水道の老朽管の更新工事を計画的に進める。
- 質** 消防屯所の整備は。

- 質** 児童生徒遠距離通学事業費の自転車通学補助金の内容は。
- 答** 令和3年度からスクールバスの運行が縮小になることから、4歳を超え自転車通学する中学生を対象に、3年間で1万円の補助金を支給。
- 質** スクールカウンセラーの成果は。
- 答** 先生方の児童生徒の見守りやサポートの仕方に幅が広がった。また、震災に関わらず、支援を要する子どもや発達障がいの子などにも関わっている。子どもたちがスクールカウンセラーという職業を知ることにもつながった。
- 質** 図書館指定管理料の内容は。
- 答** 人件費や施設管理に係る警備・清掃・自動ドアの保守管理料などである。また、図書購入費も含まれている。（担当・伊藤勇一、大和田加代子）